

## 令和4年度 議会報告会意見等一覧（教育民生常任委員会所管分）

### アンケートによる意見等についての調査結果

No.	所管課	要件	意見・要望・質問	調査結果
1	学校教育課	学習ICT	コロナ感染拡大により、三豊市内でも学校閉鎖や学級閉鎖が多数出たが、デジタル対応は学校により差がある。学校選択制を求める。	県職員である教員の異動があることから、常に学校の評価が一定であるとは考えにくく、学校選択制についてはさらなる研究が必要と考えられる。 また、本市では、臨時休校や出席停止生徒が発生した場合のオンライン学習についての全校統一の実施基準を定めていると聞いている。引き続き、ICT支援員による毎週の巡回派遣や校内研修の支援、オンライン授業のためのマニュアルの配布などの現場支援を行い、すべての学校においてオンライン授業による学びの保障ができる取組を推進していくよう議会として働きかけていく。
2	学校教育課	学習ICT	三豊市の中学校でもICT整備で高校の先取り学習をしてほしい。そして市外の中高一貫にいかなくてもすむ教育をしてほしい。	学校の授業では、知識・技能の習得だけではなく、分野や題材に関わらず発揮される思考力や判断力、表現力、及び、自ら学び進める力を身につけることが重要であり、本市では、それらを育成するための協働的な学びと探究的な学びを充実させることを推進しており、ICTを活用することも進めることとしているとのことである。議会としても今後のICT活用について注視していく。
3	学校教育課	学習ICT	学校の授業について、ICTで、難易度の高い授業から低い授業まで、生徒にあったものにする必要がある。宿題についても、一律ではなく生徒にあったものを出してほしい。	本市では、児童生徒一人ひとりに合った教材や学び方を提供する「個別最適な学び」を推進しており、それを実現するための教材として、AIが児童生徒の回答や学習履歴に応じて自動で最適な問題を出題するデジタルドリルを整備し、その活用を重点的に進めているとのことである。しかしながら、学校現場で十分に活用されているとは言い難い現状であるため、議会として積極的な活用を求めていく。
4	スポーツ振興課	スポーツ施設	宝山湖公園に税金を投入して元が取れるのか。立地は不便である。	宝山湖公園芝生広場は、ジュニアサッカーコートが8面確保できるグラウンド環境であり、改修工事前においても土日及び夏休み等の長期休暇には、練習場や大会会場として年間約26,000人の利用があったとのことである。改修工事後は、これまでの利用に加えて、カマタマーレ讃岐の練習拠点としての利用をはじめ、健康教室やスポーツ合宿誘致などを計画中であり、交流人口の増加、ひいては地域活性化につながるような事業展開を考えていると聞いている。計画内容を精査し、十分な成果を出せるよう働きかけていく。
5	スポーツ振興課	スポーツ施設	宝山湖公園は、整備費用だけでなく、ライフサイクルコストも考えた上での計画が疑問だ。	ライフサイクルコストを試算したうえで、利用方法等も含めて整備計画を検討したとのことである。改修工事や改修後の維持管理については多くの費用が必要となるが、利用する子どもたちの健全育成や夢の実現、市民の健康増進、交流人口の増加によるにぎわいや経済効果の創出、地域活性化など、財政負担に見合った効果があるものと考えていることと併せ、財政負担の軽減を図るための取り組み（ネーミングライツ、スポンサー広告等）も進めていくとしているので、議会としてもこれを注視していく。
6	みとよ市民病院	病院	みとよ市民病院ができた。名称が、観音寺市にある三豊総合病院と混同する。閉鎖された永康病院の看板は、撤去するべきだと思う。	ひらがらで「みとよ」としたことで、文字としては区別しやすくなっている。しかしながら、三豊総合病院と似た名称ではあるので、取り違えの無いように広報するよう求めていく。 交差点等にある永康病院の案内看板は、撤去し、病院屋上の看板については、建物解体により撤去することになるとのことである。
7	教育総務課	学校再編	中学校の統廃合が進んでいない。中学校は生徒の人数が減ると免許外教員が増え、生徒の教育に多大な影響がある。免許外教員が教えないように教員数を増やすか、教員数を増やせないなら統廃合すればいいと思う。	三豊市における中学校の統廃合については、現在、生徒数の将来推計などから「三豊市立学校適正規模・適正配置検討委員会」にて検討している。ご意見をいただいた教員数にも関係することからも十分に検討し、かつ早急に方向性を示すよう執行部に要求していく。
8	学校教育課	学校運営	部活動を強制するのはなぜか。部活は任意にするように求める。 学校で募金をする必要はない。 算数セットなどの使う回数が少ない教材は、学校から貸し出す形にできないか。 学校の個人情報の取り扱いに関する指針はあるのか。 学校運営費に、PTA会費などの私費が充てられていないか。	教育委員会、学校、執行部に、保護者、生徒に十分な説明をするよう求め、学校運営について、保護者、生徒のご意見をお聞きする機会を作るように執行部に求めていく。
9	学校教育課	学校運営	教員は部活動などさまざまな業務で多忙である。	多忙感の解消については、昨今、教員の働き方改革の推進により、各校で業務量・内容の見直しや改善など取り組んでいるところである。教員一人ひとりが、これまでの働き方を見直すとともに、日々の生活や教職人生を豊かにすることで、子どもたちにとってより効果的な教育活動を行うことができることが重要である。議会としても、働き方改革の進捗を注視していく。
10	学校教育課	学校運営	子育て世代にとっては、入学するときに制服や体操服から文房具や教材などに費用がいく。少なくとも、制服は、私服で代替でき、値段の高い制服の強制はやめてほしい。	現在、市内中学校において統一型標準服導入について検討しているところのことである。議会としても、子育て世代の皆様の負担とならないよう執行部へ求めていく。

11	学校教育課	学校運営	小学校に子が入学するとき、算数セットは〇〇で買ってくださいと言われた。これは、癒着であると思った。	教材の購入先については、各家庭に委ねているが、教材によって全員が同じ物がよい場合もあり、その場合は保護者に購入理由を説明し購入をお願いしているとのことである。
12	教育総務課	スポーツ文化芸術振興	スポーツ文化芸術大会出場補助金は経費の全額補助をやめ、一部のみにしてはどうか。 スポーツ文化芸術大会出場激励金は国内の全国大会では入賞した時だけにしようか。	スポーツ・文化芸術大会出場補助金は、市内の小中学生のスポーツ・文化芸術水準の向上及び振興を図ることを目的として平成31年度より施行された事業であり、規定に該当する経費に対し10/10以内での補助をしている。 同様に、スポーツ・文化芸術大会出場激励金についても、平成31年度からの事業であり、市民のスポーツ及び文化活動の向上と振興に貢献できつつあると見込んでおり、市民に定着する事業となるには今しばらくの期間を要することから、今回いただいたご意見については、事業定着後、次段階に向けた検討材料としていくよう執行部に求めていく。
13	保育幼稚園課	就学前教育・保育	土日祝日に勤務する子育て世代のために、土日祝日に保育所がほしい。	土曜保育については、市内の公立10か所の保育所・幼保連携型認定こども園のうち8か所で午前中、2か所では午後も保育を実施しており、また、私立の保育園・幼保連携型認定こども園、小規模保育事業所でも夕方まで保育を実施しているとのことである。休日保育については、実施している施設はないが、ニーズを確認のうえ、祝日保育の実施について検討するとのことである。
14	生涯学習課	社会教育施設	豊中町図書館は、トイレに行くのにスロープがあるが、物を置かれ邪魔をされいけない。バリアフリーの意識が豊中町図書館にはない。	壁面掲示物の掲示や撤去の為に梯子を置いていたこともあったが、今後は、場所に問わず作業時以外で通行の妨げとなるような物を置かないようにするとのことである。